

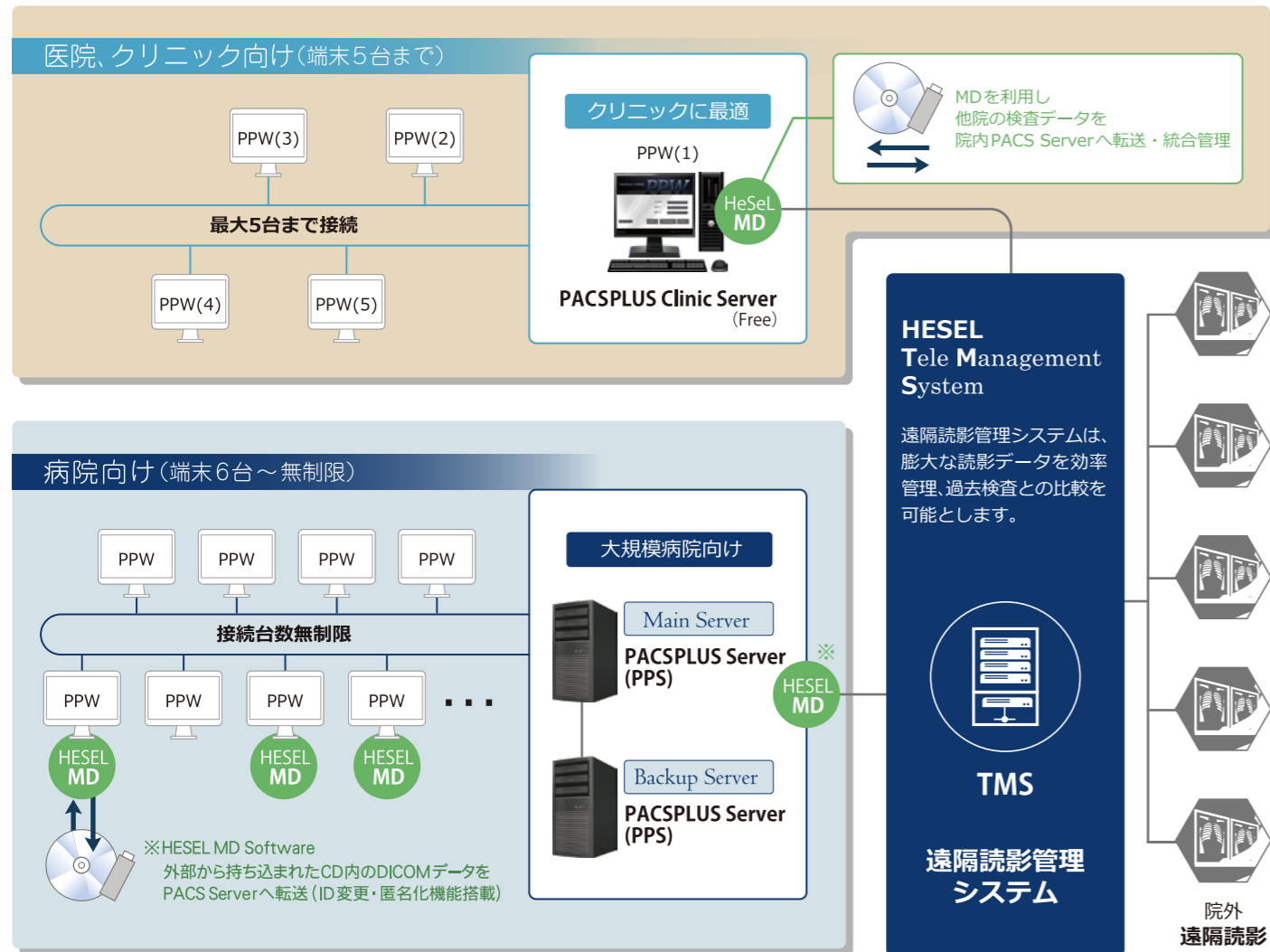
PACSPLUS VIEWER Ver5.2

ドクターのために開発された読影支援ネットワーク型医療用画像処理・配信ワークステーション
多機能・互換性に優れながらさらにパフォーマンスを追及するソフトウェア

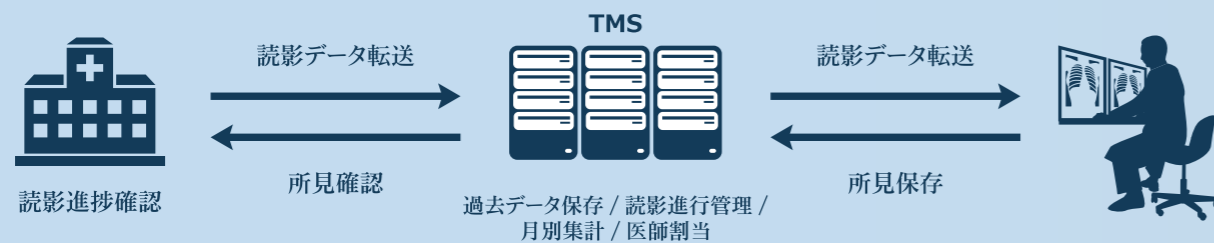


長年の実績とノウハウを積み重ねてきたPACSPLUSソリューション
機能ごとにモジュール化されたプログラム構成による柔軟なシステム構築

PACSPLUS VIEWER (PPW) 規模別構成とHESELソリューション



PACSPLUSと遠隔読影管理システム(TMS)が完全一体化



発売元

HESEL

株式会社 HESEL 〒104-0042 東京都中央区入船 1-6-12 IRIFUNE PLACE 2F
TEL 03-3553-1201 / FAX 03-3555-5122
e-mail sales@hesel.jp HP https://hesel.jp/

■「PACSPLUS」は株式会社HESELの登録商標です。

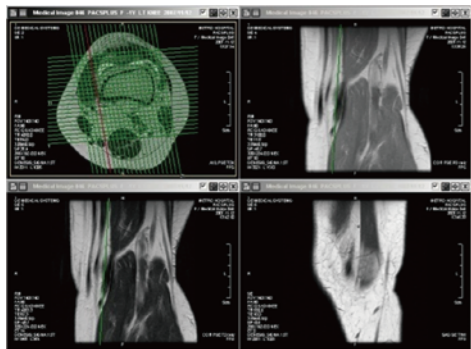
このカタログの内容は改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがありますので予めご了承下さい。 2023年11月制作

便利な機能、フレキシブルな操作でデジタル画像がさらに身近に

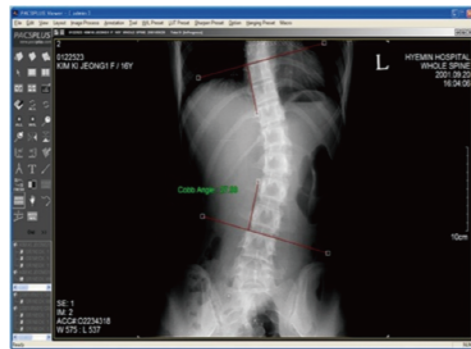
電子カルテ連動モジュールの搭載でバーコードリーダやICカード等を利用しカルテ側の患者画像をPPW上に自動表示
CT、DR、US、DSA、CR、MRなど各モダリティからの医療画像を高画質のまま高速処理

PPW 基本機能

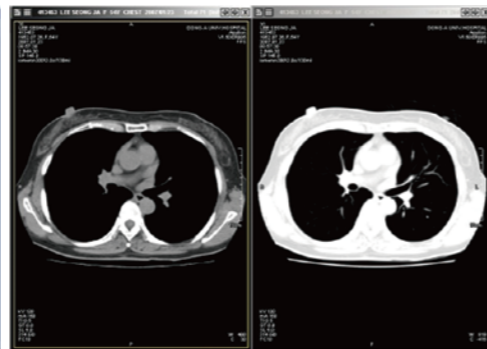
- Window Width / Level 調整
- Window Width / Level プリセット
- 拡大・縮小・パン機能
- シネ表示
- 各種計測機能(長さ、角度、心胸比)
- 画像左右回転/左右上下反転
- 過去検査リストの表示
- 画面上で診断所見入力
- 院内情報システム(HIS/RIS)との連動



スカウトライン表示



脊柱側湾症 (コブ角)



胸部CTビュー

画像表示機能 / 搭載新機能

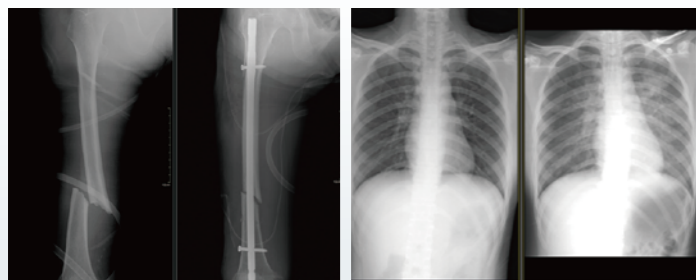
- サムネイル表示機能
照会したい画像をサムネイル上表示
- スカウトライン表示
スカウト画像を表示して、選択した画像の断面位置を表示
- 多彩な画像表示レイアウト
任意のシリーズレイアウトが可能
検査比較機能
- 脊柱側湾症(コブ角)計測機能 RT
- 脊柱側湾症(コブ角)計測機能 LT

インポート / エクスポート機能

- 汎用ファイルのインポート
JPEGファイルやTIFFファイルなどの汎用画像ファイルを取り込み、他のDICOMファイルと一緒に照会、管理することができます。
- 様々なフォーマットでのエクスポート
DICOM送信やDICOMプリントはもちろん電子メール送信や汎用プリンターへの印刷、JPEGファイルやBMPといった汎用画像形式に変換することができます。

過去検査と現在検査の比較

- 過去および、今回の検査画像を並べ、連動させることで効率の良い比較読影が可能になります。



HeSeL MD (オプション)

○ 血管造影・CT・MR・PET-CT・超音波動画等の大容量の検査データをCD/DVD/USBコピーまたはスマートフォンに転送。DICOM importer機能搭載で他病院のCD/DVD画像をPACS Serverに転送。

読影VIEWERとして利用の場合

○ DICOMデータの送受信のGateway S/WとしてMDを利用し、TMS(HESEL Tele Management System)へデータ転送。

画像表示機能 / 搭載新機能

- QC自動化LUT(Look Up Table)機能を利用し、複数画像のウィンドウレベルを自動で均一化させます。
- ピッキング機能を利用し、特定階調値の抽出が可能です。
- 類似カラー表示機能を利用し、抽出階調の調整、カラー階調の変更が可能です。

他社製品との連動

- 詳細なパラメータ設定が可能で、他社製品と連動し易い仕組みになっています。

カンファレンスフォルダ

- 個人別・用途別にフォルダを作成し、フォルダを共有することで研究・教育に役立ちます。

DICOM支援

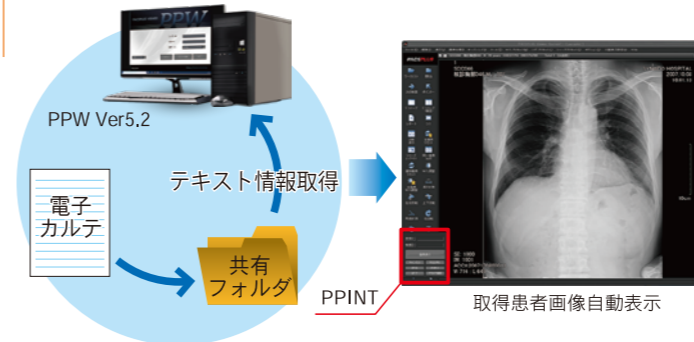
- DICOM Storage SCU, SCP
- DICOM Print SCU
- DICOM Query / Retrieve SCU
- DICOM DIR
- (SCPIはPPSで支援)

HeSeL MD の特長

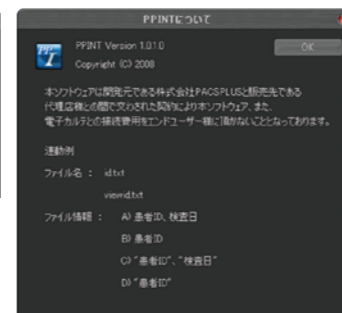
- CD/DVDの書き込み時間を、HeSeL MD搭載のDICOM USB burner (publisher)機能を利用することで、業務の効率化が図れます。
- SIMPLE Viewerも一緒に書き込まれるため、DICOM Viewerが入っていないパソコンでも閲覧できます。
- 他院から持ち込まれたCD/DVD画像をPACS Serverに転送する機能が基本搭載されています。その際、当該病院の患者IDに変更可能です。

電子カルテ連動プログラム PPINT (PACSPLUS Integration)

○ PPINT (PACSPLUS Integration) プログラムの搭載で電子カルテから送られた特定患者様の画像をPPW上に自動で表示することができます



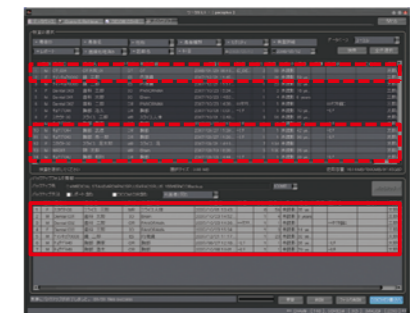
検査画像の呼出方法、共有フォルダの経路、照会間隔、呼出検査対象を設定



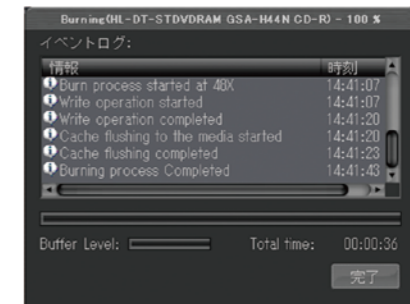
電子カルテとの接続プログラムPPINTの無償提供案内画面

データバックアップ機能

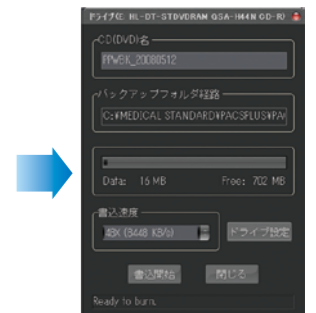
○ 誤ったデータの変更や消去、メディアやドライブの紛失や破損等、様々な要因によって失われがちなデータのコピーをあらかじめコピーしておくことができます。



上部の検査リストから書き込みたい検査を選択し書き込み開始



バックアップ完了



バックアップフォルダの指定や書き込み速度、複数のドライブの場合はドライブ名を選択

実寸サイズ (Real size) 機能

○ 画像を実際の大きさで表示し、患部の大きさをメジャーで計測可能

手動角度調整 / 長方形 (円形) ROI 画像処理

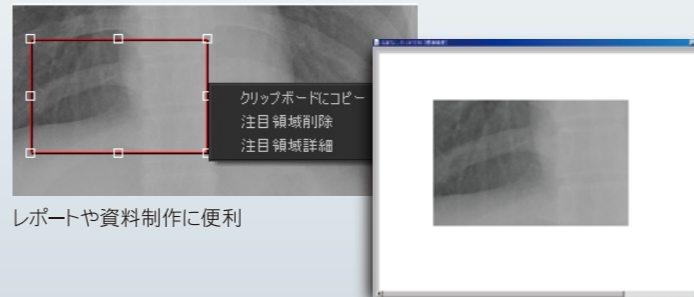
- 手動角度調整
● 円ウィンドウの針を左右方向に回して、角度を調整と保存
※サーバーと連動させた場合、クライアント側では、保存できません。
- 長方形 (円形) ROI 画像処理
● 部分的なW/Lの変更、拡大、シャープネス化の画像処理機能

長尺機能

- 検査画像を縦並びに連結する長尺機能
※サーバーと連動させた場合、本機能はクライアント側ではご利用になれません
連結時の余白自動トリミングは、オプションです。

編集メニュー (スライド制作、文書編集機能)

- 画像全体または一部を「クリップボードにコピー」機能を使用し、Word、またはPowerpointなどを開いて、【Ctrl+V】で貼り付けることができます。



レポートや資料制作に便利

多種多様なツール機能 (一部紹介)

- よく使う機能だけを編集、表示できる

